

特定非営利活動法人とちぎユースサポーターズネットワーク

2016年度事業計画書

期間:2016年4月1日~2017年3月31日

I. 2016年度の組織運営計画について —NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク—

(1)ビジョンとミッションの確認

ビジョン —目指す社会像—

それぞれの強みや違いを活かし、繋がり合い、主体的に未来を創る行動に溢れるいきいきとした社会

ミッション —社会的使命—

若者の力を活かして、地域の課題解決/活性化を加速する

(2)2015年度の基本方針の実行検証と総括

上記のミッションの達成を図る為、2015年度の組織運営に係る基本方針として、以下の事項を設定した。

実行の検証を行い、2016年度の基本方針に活かしていく。

①[継続]ミッションの達成するためのプログラムや事業を、i 動機づけ、ii インキュベート、iii プロジェクトサポート、それぞれのステージに分け、体系化し、効率化とインパクト増大を図る。

2015年度のプログラム提供者数は、2251人(前年より819人増)、協力者数401人(43人増)、活動時間11257時間(326時間増)となり大幅に機会提供を広げることができた。また挑戦する若者の内部指標としてのアイデアネクストエントリー者は、12組(前年より6組 増)となり、こちらも成果を上げることができた。これらを達成できた要因としては、スタッフの拡充(2人増の6人体制)に合わせて、組織ミッションと事業スキームの確認をスタッフ会議の際、丁寧に重ねていたことが、それぞれのプログラムで完結することなく、全体を捉え、次のプログラムにつなげていく意識が共有できたことだと考えられる。加えて、メディア掲載等40件(前年より18件増)、当会を取り上げて頂ける機会も増え、対外的な認知と説明機会が増えたことを、巻き込み力を育むことができた一因であると考ええる。

②[継続]実践型インターンシップ「GENBA CHALLENGE」(ゲンチャレ)のプログラムの充実。

企業の次の一手の加速と、起業家志向若者の成長を目的とするゲンチャレは、受入組織を企業にしていた従来のプログラムに加えて、NPOを受入組織とするNPOゲンチャレをJTNP助成を受け、開発することができた。そのほか、宇都宮大学や作新学院などの大学が主催機関となるインターンシップにおいて、プログラム指導として関わるなど、大学と連携した実践もできた。

しかしながら、インターンシップ事業全体(ゲンチャレ、NPOゲンチャレ、課題発見解決型インターンシップ、ホンキのインターンシップfor 2weeks、社長留学)の内、当会オリジナル事業のゲンチャレは、募集案件があったもののマッチングができず、実施できなかった。要因としては、受入組織となる企業への提案が、企業よりなりすぎずまい、学生若者から遠い案件として見られたものと考えている。また他の事業を並行実施していく中で、エントリー者募集のための説明会、報告会の実施など、対外的に募集していく動きが、鈍ってしまった。今後の対応としては、エントリー者開拓の比重を高められるように、その動きを専任化できうるスタッフ体制を検討していく。

③[新規]より一層の会員とのコミュニケーションを図り、会員と共に2020年に向けたビジョンとロードマップづくりを行う。

会員とのコミュニケーションの機会かつ事務局が抱える事業課題に対して会員にアドバイスを頂く会員限定交流会YOUTH TIMEは、4回62人(前年より1回減、14人減)となり、減少傾向となった。YOUTH TIMEでの意見を元に、LINE@の活用や、ゲンチャレ募集のチラシの魅せ方変更など、事業推進における工夫改善に繋がる機会にはなったが、2020年に向けたビジョンとロードマップの策定を進めることができなかった。要因としては、役割分担が明確になっていなかったため、宙に浮いてしまった。

④[新規]地域×若者の取組みの成果を可視化し、新たな会員、挑戦者、支援者・協力者の獲得していく。

2015年度の運営会員58人(2人増)、賛助会員個人32人(2人増)、賛助会員企業13社(4社増)、チャレンジ会員44人(16人増)、計147人・社(28人・社増)となった。プログラム提供者数、協力者数等の増加に比例して増加できたことは、関わりの機会から支援者への展開ができたと考えている。

⑤[新規]会費、寄付(協賛金)、事業収入など、自己資本を高め、組織の安定化を図る。

会員費419,000円(136,340円減)、寄付1,699,694円(1,402,486円減)、事業収入9,576,240円(5,075,816円増)、行政委託事業8,533,000円(5,983,800円増)、となり、会員費、寄付等の支援系収入は減少したものの、事業に伴う収入が大幅に増加した。地域と若者を繋げ新しい物語を創出するプログラム開発が商品・サービスとして認知と期待を頂けたものであると考える。また収支を黒字がすることができ、自己資本比率を高めることができた。

【総括】前年度創り上げた挑戦する若者とそれを必要とし、支えていく地域との繋がりがあい、新たな価値を創造する会環境の素地を活かし、事業スキームの運用と事業性を高めていくことを実現できた2015年度であった。全体のボリューム、数字に関しては上昇傾向であり、職員一同、全体を捉えながら目の前の地域や若者に向き合っていく基本的姿勢については浸透しはじめ評価頂きたいものの、細やかな動きについては、漏れがあり、また会員等の支援者・協力者の力をさらに活かして運営をしていく改善が必要である。代表理事 岩井俊宗

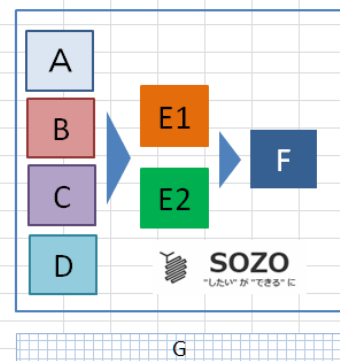
(3)2016年度 基本方針

左記のミッションの達成を図る為、かつ2015年度の基本方針の実行検証を踏まえて、以下の事項を2016年の基本方針とする。

- ①従来の個人の地域づくりへの参画を継続しつつ、新たにアーリーステージ(創設間もない)のチームの強化とチームの力を活かした地域づくりを加速させ、より地域づくりへのインパクトを高めていく。
- ②ビジョンの解像度を高めるための、会員全体とビジョンの策定を実施する。
- ③更なる事業加速のために、個の責任感・主体性、チームとしての柔軟性と創造性を融合したプロジェクトチームによる実施体制の実現と運用。

(4)2016年度事業運営スキームと体制

	ターゲット／ニーズ分類	プロジェクト	プログラム			
A	ボランティア活動をしたい 社会貢献したい 同世代と交流したい	とちぎ手仕事支援プロジェクト	震災後福島で生まれた商品の販促イベント(各種) ユースワークキャンプ2016 in ふくしま			
		地域課題の歩き方	とちぎ学生未来創造会議 まちなか元気若者会議 地域づくりチャレンジワーク YOUTH SEM INAR (ユースゼミ)			
			”学生×地元企業”プロジェクト	働く人図鑑 ワークトリップ		
				はじめのインターンシップ	短期実践型インターンプログラム「社長留学」／「ホンキのインターンシップ」 インターン見本市 宇都宮大学 課題発見・解決型インターンシップ	
B	仕事や働くをもっと知りたい 就職活動に向けて学びたい 働く前に社会を知りたい 働く経験を積みたい	”学生×地元企業”プロジェクト	働く人図鑑 ワークトリップ			
			はじめのインターンシップ	短期実践型インターンプログラム「社長留学」／「ホンキのインターンシップ」 インターン見本市 宇都宮大学 課題発見・解決型インターンシップ		
				ソーシャルビジネススタートアップ	ソーシャルビジネスフォーラム ソーシャルビジネスセミナー ソーシャルビジネス留学 創業ネットワークコーディネート／起業相談 宇都宮大学 連続講座「起業の理論と実際」	
					(仮)「+ローカル」プロジェクト	栃木県 UJIプログラム 「はじまりのローカルコンパス」
						E1
E2	組織や地域が抱える問題解決を提案・実行したい 自分の力を試したい 実践的なスキルを高めたい					
	F	プロジェクトを継続・発展させたい 新しい出会い、つながりが欲しい チャレンジする仲間が欲しい				
		G	次世代の育成をサポートしたい 若者のチャレンジに期待している			
			H	若者の力を借りたい		



【事務局体制】
常勤4名 非常勤3名
(うち事業推進5名、事務総務2名)

2016年度事業計画

(1)特定非営利活動に係る事業

事業の種類 (定款)	事業プログラム	事業内容(案)	備考(1.実施日時、2.場所、3.事業パートナー)	成果指標 受益対象者の範囲 及び人数	予算額 (千円)	
① 社会事業を行う人材育成事業	実践型インターンシップ事業	実践型インターンシップ「GENBA CHALLENGE」	1. 通年 2. 企業2社 3. 他	21名	3640	
		チーム型インターンシップ	1. 6月～3月 2. 宇都宮市内 3. 宇都宮大学キャリア教育・就職支援センター	15名	600	
	起業・創業ネットワーク事業	若者の社会をよくするスタートアッププログラム「IDEA→NEXT」	エントリー者募集 ブラッシュアップ合宿 ファイナルプレゼンテーション	1. 通年 2. 栃木県内 3. 協賛企業等	20名	600
		ソーシャルビジネスフォーラム ソーシャルビジネスセミナー ソーシャルビジネス留学	ソーシャルビジネス分野の起業に向け、関心を高めるフォーラムと具体的なスキルを磨くセミナーを実施。 またソーシャルビジネスの現場にてノウハウを学ぶ短期インターンシップを開催。	1. 9月～12月 2. 宇都宮市 3. 宇都宮市産業政策課	80名	1200
		宇都宮大学講座「起業の理論と実際」	宇都宮大学での起業の実際と理論の授業運営。	1. 10月- 2. 宇都宮大学 3. 宇都宮市産業政策課、宇都宮大学キャリア教育・就職支援センター		2200
	中小企業人材育成事業	地域中小企業の人材確保支援事業	短期インターン社長留学、連携会議コーディネーター	1. 通年 2. 栃木県内 3. ワークエントリー	30名	1500
	地域担い手定着事業	首都圏若手人材UIJターン事業	「はじまりのローカル コンパス」	1 通年(6月～) 2 栃木県・首都圏 3 県地域振興課	80名	5800
			「ローカルインターンシップ」	1 8月、2月 2 栃木県・首都圏 3 ワークエントリー	10名	300
		地域の担い手育成事業	那須烏山市地域おこし協力隊研修 地域づくり人材育成	1 10月～2月 2 栃木県・首都圏 3 那須烏山市 1 通年 2 栃木県 3 栃木県地域振興課	3名	1500 2000
	その他の事業	各種プログラム開発・提供事業	とちぎ学生未来創造会議「とちぎ未来留学」	1. 9月～11月 2. 栃木県内 3. とちぎ学生未来創造会議	30名	600
			まちなか元気若者会議 地域づくりチャレンジワーク	1. 9月～10月 2. 栃木県内 3. 県地域振興課	30名	350
	② ソーシャルプロジェクト支援事業	とちぎ手仕事支援プロジェクトFukuFuku	福島の手仕事商品の販路開拓 福島での人材交流	1. 通年 2. 栃木県内、福島県いわき市 3. 住友商事	50名	3150
		宇都宮市魅力発信事業	愉快ラボ	1. 通年 2. 宇都宮市 3. 宇都宮市広報広聴課		2000
		NPO後方支援事業	とちぎボランティアネットワークサポート	1. 通年 2. 宇都宮市 3. とちぎVネット		600
		YOUTH TIME(会員限定交流会)	会員間の相互交流と事業促進	1. 隔月 4回 2. 宇都宮市内	80名	80
③ ネットワーク/コミュニティ形成事業	トチギみらくるギフト	若者の活動による地域づくりを加速させるため県内の若者支援団体と連携し、寄付の開拓		---	---	
⑥ 社会事業に関する相談/アドバイス事業	ベンチャーズ総合創業支援相談業務	起業創業の相談窓口での対応 宇都宮市起業創業ネットワークの全体コーディネート、進捗管理	1. 通年 2. 宇都宮市 3. 宇都宮ベンチャーズ/宇都宮市産業政策課	---	480	
⑤ 挑戦する若者を支える奨学金事業	ホンデチャレンジ	読まなくなった古本を寄付して、若者を育む仕組み	1. 通年 2. 全国 3. バリューストックス	600冊	120	
	gooddo	クリックやシェアで団体を応援する仕組み	1. 通年 2. 全国 3. gooddo	---	100	
⑧ 情報発信出版事業	トチギソーシャルニュース(継続)	栃木県内の社会的取り組みを発信するサイト(Blog)の運営	1. 通年 2. 全国	アクセス数 10,000UU 30,000pv	0	
	地域を良くする企業と若者の物語	・若者チャレンジレポート/・若者を応援する企業レポート (with インターン生)	1. 2回/年 発行	---	0	
	情報発信	WEBサイト作成・管理、Facebook管理・発信 Twitter管理・発信、資料発送	1. 通年	FB 1500いいね! TW 800フォロー	0	